

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため授業料免除
宿舍費	6300	800000円	
食費	2500	300000円	
図書費	0	0円	
学用品費	250	30000円	教科書等
携帯・インターネット費	300	40000円	
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400	50000円	どれだけ遊ぶのかによる
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	1500	200000円	形態: 明治大学指定と UNO 指定
渡航旅費	1300	180000円	
ビザ申請費	160	20000円	
雑費	0	0円	
その他		円	
その他		円	
合計	12710	1620000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田 目的地: オマハ 経由地: ロサンゼルス	
復路 出発地: オマハ 目的地: 羽田 経由地: サンフランシスコ等	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: Zip Air 料金: 70000円 復路 航空会社: United 料金: 110000円 ∴ 合計: 180000円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(航空会社サイトにて)	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:University Village) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学案内に従った

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

かなり快適な寮だと思います。バス・トイレは二人で共有、キッチンは4人で共有という形ですが、それぞれに鍵付きの個室があるのでプライベートな空間も用意されています。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

基本的には、現地の友人などに危険な場所について教えて貰いました。校内で問題が発生した際は、寮のアシスタントがメールで連絡してくれます。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のWi-Fiで何も問題はありませんでした。私の周りの友人はソフトバンクのアメリカ放題を使ってました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座は開設しませんでした。殆どの支払いはクレジットカードでしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

なんでも調達できました。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Aviation Intro	航空学入門
科目設置学部・研究科	Aviation
履修期間	8 月から 12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	航空学の基礎を学ぶ。アメリカの航空局についてや、航空会社についてなど。
試験・課題など	小テストが 1 か月に 1 度あり、プレゼンやレポートなども含めて評価される。
感想を自由記入	明治大学にはない講義であったため新鮮で興味深かった。2 人 1 組のプレゼンテーションは大変であったが非常に楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ESL		第二言語としての英語	
科目設置学部・研究科	English		
履修期間	8月から12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Sarah Osborn		
授業内容	英語を第二言語として学んでいる学生のための講義。英語での論文の書き方や、ディスカッションの仕方などについて学ぶ。		
試験・課題など	論文課題が4つ出され、それによって評価される。		
感想を自由記入	様々な国からの留学生が受講しているため、多様な価値観や文化を学べる授業でした。個人差はあると思いますが、やはり日本人や韓国人は発言などにも消極的なものに対して、中東や南米からの留学生は積極的で考え方の違いを感じました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Journalism and Communication		メディアとコミュニケーション入門	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	8月から12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Dr. Weare		
授業内容	メディアやコミュニケーションについて学ぶ		
試験・課題など	ポッドキャストの作成やレポート課題、数回のテストによって評価される。		
感想を自由記入	週ごとに異なった、メディアに関するテーマを学べます。ポッドキャストの作成という課題は、かなりユニークで、自分で選んだ話題について3分程度のポッドキャストを作成しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Beatles		ビートルズ	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	8月から12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Dr. Tomm Roland		
授業内容	ビートルズについて学ぶ		
試験・課題など	数回のレポートによって評価される。		
感想を自由記入	明治大学にはない変わった授業だったので受講しました。毎週異なったビートルズの曲について学び、レポートでは自身で選んだ曲について調べてまとめます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Black Studies		アメリカにおける黒人について	
科目設置学部・研究科	Black Studies		
履修期間	1月から5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75分が 2回		
担当教授	Joseph Akpan		
授業内容	黒人の歴史について。差別や反乱など。		
試験・課題など	3回の試験によって評価される。		
感想を自由記入	アメリカにしかない授業だと思い受講しました。アフリカからアメリカに連れてこられた黒人奴隷がどのようにして権利を手にするようになったのか、その歴史について学べます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to the U.S. Economy		アメリカ経済初歩	
科目設置学部・研究科	Business Administration		
履修期間	1月から5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Jill Bydalek		
授業内容	アメリカ経済の初歩を学ぶ。		
試験・課題など	3回の試験によって評価される。		
感想を自由記入	経済学の初歩を、アメリカや世界の情勢なども含めて学ぶことが出来ました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Political Science		政治学初歩	
科目設置学部・研究科	Political Science		
履修期間	1月から5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Joel Chase		
授業内容	政治の基礎について		
試験・課題など	3つの試験、2つのレポート、ディスカッションボードで評価される。		
感想を自由記入	アメリカの政治と世界の政治を同時に学ぶことが出来ます。アメリカ独自の政治の仕組みを知る機会になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Problem	社会問題
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	1月から5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	John Powers
授業内容	世界の様々な社会問題について学ぶ。
試験・課題など	
感想を自由記入	アメリカのみならず世界に存在する社会問題について学べます。講義は生徒と教授のディスカッションをベースに展開され、社会問題に対して多様な意見を聞くことができます。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:休学

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 対策
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	応募、面接
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	ビザ取得、滞在先の確保
	8月～9月	渡航、授業開始
	10月～12月	春学期・冬休み
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、秋学期、学期休み
	4月～7月	秋学期、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私は、アメリカへの留学に以前から憧れていたもので、自然とアメリカの大学が留学先の候補になりました。その中で、ネブラスカ大学オマハ校は田舎過ぎず、都会過ぎず程よい規模の街にあったので選択しました。実際に住んでみても住みやすい街だと感じました。それに加えて、他の大学と比べると、プライベートが守られている寮の構造で、4人1部屋ではありますがそれぞれの学生に鍵付きの個室がありました。出発前からネブラスカ大学のサイトから寮の写真が確認できたので、そういった点も含めてネブラスカ大学オマハ校を選びました。

オマハでの生活は非常に快適で、特に不便なことはありませんでした。3人のルームメイトと暮らすことで、アメリカ人の生活を学ぶことも出来ます。とは言え、アメリカ人と一言で言っても様々なアメリカ人がいます。部屋から出てこない引きこもり気質のアメリカ人もいれば、毎晩パーティーに行くアメリカ人もいます。アメリカ人に典型的な型は存在しないことを、この留学で学びました。黒人も白人もヒスパニックもアジア人も、どの人種でもアメリカ人になれるというのがアメリカの魅力であり、面白い所かなと思います。

私は退屈な環境から抜け出し、新たな価値観を身に付けたいという思いで留学を決意しました。自分で決断したにもかかわらず、渡航前はとてつもない不安と恐怖を感じていたことを覚えています。しかし、留学から帰国して思い返してみれば、この10か月は本当に夢の様な充実した時間でした。到着初日から、アメリカ人のルームメイトと英語で関係を築いていき、学期が始まると日本人がほとんどいない教室で講義を受けるという環境です。経験することすべてが新しく、緊張や不安さえも忘れてしまう程、刺激的な毎日でした。当然ながら、苦労はありましたが、それ以上に、楽しかった思い出が鮮明に思い出されます。

留学を決意する理由に正解はないです。少しでも留学に興味があるのであれば、ぜひ挑戦してもらいたいです。